

# 統領に朴槿恵氏

## 初の女性親子2代

### 接戦制す 保守政権継続

【ソウル＝門間順平】韓国大統領選は19日、投票が行われ、即日開票の結果、保守系与党・セヌリ党の朴槿恵候補(60)が最大野党・民主統合党の文在寅候補(59)との接戦を制し、当選した。朴氏は韓国に高度経済成長をもたらした朴正熙元大統領の長女で、韓国初の女性大統領となる。2013年2月25日に就任する。任期は5年。

〈関連記事2・3・8・9面〉

#### ◆韓国大統領選開票状況

20日午前1時25分現在。開票率96.4%

候補者名 (所属)	朴槿恵 (セヌリ党)	文在寅 (民主統合党)
得票	1522万8936	1414万1365
得票率	51.6%	47.9%

※中央選管集計。ほかの4候補は除く

朴氏は19日深夜、ソウル中心部の光化門広場で、集まった支持者を前に、「今回の選挙は国民の皆さんの勝利だ」と笑顔で勝利宣言した。

韓国大統領府報道官は「朴氏の当選を国民とともに心からお祝いする」との談話を発表。李明博大統領も朴氏に祝福の電話をか



部で支持  
撮影)

けた。

韓国中央選管の20日午前1時25分現在(開票率96.4%)の集計では、朴氏の得票は1522万8936票、文氏1414万136

5票。残票は100万票りあるが、文氏は大票田ソウル首都圏で伸び悩み残票をすべて獲得しても氏を上回らない情勢となった。

KBSテレビや聯合ニュースなどの韓国主要メディアも、そろって朴氏の勝を伝えた。

文氏は19日深夜、記者見し、「自分の力不足で権交代を実現できなかった」と敗北を認めた。

選挙戦は、朴元大統領長女である朴氏と、盧

## 脱デフレへ「合意

### 諮問会議 担当相に 再生本部

自民党の安倍総裁は19日、新政権での経済財政政策に関する体制の骨格を固めた。民主党政権では休眠

状態にされた経済財政諮問会議を復活させ、マクロ政策の基本方針を策定する。新設の日本経済再生本部はミクロ政策を推進する。経済再生とデフレ脱離のための両輪の連携を図る。「合同会議」(仮称)を設置する。



# ? 忘年会、新年会 お酌のマナー

# なま解く

## つきあい

忘年会に、年が明ければ新年会と、宴会シーズンたけなわだ。杯を盛んにやり取りすることが多いが、職場など仕事関係のつきあいで、お酌の作法やタイミングはどうしたらいいのだろうか。

時間ももったいない。「丁寧」さえ意識していれば十分」という。ビールに限らず、注ぐ際は、片方の手で瓶やとっくりの胴部分を持ち、もう一方の手で底を支える。「丁寧」を心がけていれば、粗相の可能性も少なくなる。

注がれる方は、感謝の意を表すために、グラスやおちょこを両手で持つ。ただ、ワイングラスは手に持つと、安定せずに注ぎづらいため、卓上に置いてお

### 宴会で酒を注ぐ際のポイント

- ・細かいお酌の決まりごとより、丁寧さを大事に
- ・注ぐ方も、注がれる方も両手を使う
- ・注ぎ足しをする際は、「いかがですか」と声をかける
- ・満杯のグラスや手かざしは、「断り」のサイン
- ・お酌は、部下から上司が基本だが、時には上司も気遣いを

(友田さんと古谷さんの話をもとに作成)

# 「丁寧」に「意識すれば十分

ビールに日本酒、ワインなど、宴会に出る酒は多種多様だ。それぞれに注ぎ方の作法はあるものの、シニア・ワインアドバイザーやきき酒師の資格を持つ、トータル飲料コンサルタントの友田晶子さんは「忘年会や新年会では、あまり気にする必要はない」と話す。

たとえば、ビール。おいしく味わうなら、きれいに泡を立て、それをつぶさないようにゆっくりと注ぐ。香いや味を損なう注ぎ足しも良くない。しかし、友田さんは「宴会でそんなことを始めたら、酒がすすまないし、

く。謝意は、グラスの台の部分に片手を添えて示す。

難しいのは、注ぎ足しのタイミングだ。酒の楽しみ方は、人

それぞれ。空になるまで足さないという人もいれば、空になるという人もいる。「注ぎ足す前に『いかがですか』と声をかけるのが無難で、無理強

いも防げる」また、手酌をさせることを気にする人もいるが、非礼には当たらないという。「本人が不満を感じていないようなら、気にしなくてもよ

い」と友田さん。一方、酒が苦手な人への配慮も大切だ。「まあまあ」「なめるだけでも」などの声掛けも、飲めない人には負担になることがある。無理にすすめず「ウーロン茶や冷たい水はどうですか」などの言葉をかけてほしいという。

ビジネスマナー研修などを手がける「マネジメントサポート」代表の古谷治子さんは、お酌は、目下の者が目上の者に対して行うのが基本」という。忘年会や新年会といった節目の宴会は、上司らと親睦を深めたり、日頃

の感謝を伝えたりできる貴重な場。「飲み物を注いであげたり、食事の注文をとってあげたりと、気を配ってほしい」とはいえ、自らの飲食の時間を削ったり、四六時中、狭い部屋の中を動き回ったりする必要はないそうだ。「最近では、年長者でもきたりにこだわらない人が増えている。マナーとしてのお酌は乾杯後の2杯程度まで。後は、気がつく範囲で十分。時には上司が部下にお酌をしてあげれば、より宴会の雰囲気も良くなるでしょう」と古谷さんは話している。



ビールなど瓶の飲料はラベルを上向きにして、両手で丁寧に注ぐ